

令和5年度第1回国分寺市地域福祉推進協議会

日時：令和5年6月29日（木）

午前10時15分～午前11時45分

会場：リオンホール（cocobunji WEST 5階）

出席委員 50人

【事務局】地域共生推進課長（新井），地域共生推進課重層的支援体制整備担当係長（渡部），
地域共生推進課職員（米田，大坂）

次第

- 1 開会挨拶
- 2 会長及び副会長の互選について
- 3 国分寺市地域福祉協議会の運営について
- 4 グループワーク
 - ・リレー式発表・・・自己紹介，私の『イチ押し』『興味ある』イベント・活動
 - ・サイコロ質問・・・直感で一言

資料

- 【資料1】国分寺市地域福祉推進協議会設置要綱
- 【資料2】令和5年度国分寺市地域福祉推進協議会年間スケジュール
- 【資料3】令和5年度国分寺市地域福祉推進協議会委員の活動情報・取組情報
- 【資料4の1】「自己紹介カード」，「私の『イチ押し』『興味ある』イベント・活動」
- 【資料4の2】記入例
- 【資料5】次期地域福祉計画策定に向けた市民懇談会について
- 【資料6】国分寺市地域福祉推進協議会の運営について
- 【資料7】令和5年度第1回国分寺市地域福祉推進協議会グループ名簿
- 【資料8】グループワークの進め方

開会 午前11時45分

1 開会挨拶

事務局より開会挨拶及び資料確認を行い，併せて記録作成のための写真撮影及び音声録音について説明を行った。

2 会長及び副会長の互選について

委員互選に基づき、原会長及び小川副会長の選出の確認を行い、拍手にて承認した。

【原会長挨拶】

ただいま会長推挙をご確認いただきました特定非営利活動法人あおぞらの原でございます。向後1年間、協議会活動にご支援、ご協力くださいますよう、心からお願い申し上げます。本協議会には、個人の方もおられますし、団体組織の代表という方もおられますが、皆様が地域におけるそれぞれの活動情報などを共有し、自らができる地域福祉の推進に向けた取組を進めていく中で、委員相互の交流や連携が促進され、活動の進展につながる気づきや学びが得られることを期待しています。

実は私、平成30年から令和3年までの4年間、本協議会の会長を仰せつかっておりました。昨年を含めまして、この4年、誠にコロナに呻吟されました。皆様方も大変な打撃を受けられたのではないかと思います。最大の打撃は、会員あるいは利用者の数が激減したことです。いずれの組織、団体も経験されておられ、コロナ以前の状況に回復させるだけでも大変な努力をなされていると思いますけれども、地域のつながりが希薄になっている現在、いま一度体制を整えまして、各団体、組織の旧に復する活動や新たな取組を推進してまいりましょう。どうかよろしく願いいたします。

【小川副会長挨拶】

皆さん、おはようございます。社会福祉法人国分寺市社会福祉協議会事務局長並びに、今回常務理事を拝任いたしました小川恵一郎と申します。副会長にご推薦いただきまして、昨年度も副会長を務めてまいりましたが、原会長の下、会長の仕事を補佐し、新たな取組の一助となるように頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

今年は国分寺市の重層的支援体制整備事業1年目ということで、これまでも社協の地域福祉コーディネーターが中心となって進めてきた取組でございますが、本格実施として、社協からは、私や地域福祉コーディネーターを含めて8人が協議会に参加しております。

また、国分寺市地域福祉計画の見直しが進められており、今年度中に作成いたしますので、皆様のご意見をいただきながら、進めてまいりたいと考えております。社協といたしましても、地域共生社会実現のために、皆さんとともに各事業を推進してまいりたいと存じます。

地域福祉とは、ウェルフェアのみならずハピネス、みんなで幸せになるということをお場で共有、確認しながら、この会が進めていけると良いと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

3 国分寺市地域福祉協議会の運営について

(事務局説明) 国分寺市地域福祉協議会は、資料1「国分寺市地域福祉推進協議会設置要綱」に基づいて平成27年度より開催している。国分寺市地域福祉計画に位置付けられた当協議会は、個人の市民の方と団体推薦された方が市長の委嘱により委員となり、今年度は67人の方に参加いただいている。資料2「令和5年度国分寺市地域福祉推進協議会年間スケジュール」として、本日第1回協議会開催の後、活動情報や国分寺市地域福祉計画の評価に係る意見などへの書面アンケートを実施し、1年間の活動の振り返りを経て、来年2月に第2回協議会を開催予定としている。資料3「令和5年度国分寺市地域福祉推進協議会委員の活動情報・取組情報」は、委員の活動情報・取組情報として取りまとめた資料である。資料5「次期地域福祉計画策定に向けた市民懇談会について」は、本日午後開催の次期地域福祉計画策定に向けた市民懇談会のお知らせである。

資料6「国分寺市地域福祉推進協議会の運営について」を説明する。「地域福祉の推進による地域共生社会の実現」にある地域共生社会とは、「一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」である。地域共生社会の実現を目指した地域福祉の推進は、地域住民の皆様が主体となって相互に協力し、様々な地域生活課題を把握し、支援関係機関が連携しながら解決を図る取組である。

次に、重層的支援体制整備事業と国分寺市地域福祉推進協議会の位置づけについて説明する。国はこれまで、子ども、障害、高齢といった属性ごとに、要介護、虐待、生活困窮などのリスクに合わせて福祉制度を構築してきた。しかし、人々が生活の中で直面する困難や、生きづらさの多様性・複雑性から現れる支援ニーズと、制度のギャップを背景として、令和2年の社会福祉法改正により、地域共生社会の実現を目指すための体制整備と位置付けた重層的支援体制整備事業を創設した。

本事業は、本人と支援者が継続的に関わるための「相談支援」、住民同士が気にかけて関係性を育むための「地域づくりに向けた支援」により地域のセーフティネットの充実を図るとともに、この両輪のつなぎとして、本人に必要な資源を生み出すための「参加支援」を実施するものである。3つの支援を一体的に展開することで、一層の効果を発揮する。「地域づくりに向けた支援」の概要は、①世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備、②交流・参加・学びの機会を生み出すために個別の活動や人のコーディネート、③地域のプラットフォームの形成や活動の活性化、である。国分寺市地域福祉推進協議会は、市のプラットフォームの展開の一つとして位置付けている。

「国分寺市地域福祉推進協議会」は、地域の多様な活動団体と個人の市民が集い、つながる場であり、委員の活動内容とその重要性を共有し、新たな気づきを得て学ぶ場である。住民の多様なニーズや生活課題への柔軟な対応に向けて、身近な地域の共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図ることを目的としている。生活困窮者支援等のための地域づくり事業と連携を図り、取組を進めていく。当協議会が目指す方向性は、①ご近所、趣味などのグループ、自治会・町内会、老人クラブなど、地域の様々なつながりや気にかけて関係の発見、②発見された関係から学び、気づいたことの

共有、③共有した学びや気づいたことの発信、これら3つが循環し、活動のきっかけを提供していく。この後のグループワークで、3つの循環をイメージいただけると幸いです。

4 グループワーク

次第4「グループワーク」は、資料7「令和5年度第1回国分寺市地域福祉推進協議会グループ名簿」の主な活動エリアごとに、資料8「グループワークの進め方」に沿って実施した。1「リレー式発表」は、資料4の1のカードを使い、自己紹介とイチ押し・関心あるイベント・活動を発表し、続いて発表者の左隣の方が、発表内容にコメントする。2「サイコロ質問」は、サイコロを振り、資料8右側の質問表にある●の数の質問に、直感で一言で回答した。

(全体発表)

1『リレー式発表』

三つのグループから、各グループごとに委員お一人より、自身の活動情報やグループで得られたコメント内容について発表した。

2『サイコロ質問』

「最近あった（今もある）愉快的こと・嬉しいこと」「10年後の自分を想像して一言」の質問に当たった委員より、最近の愉快的エピソードや10年後の自身に向けた御謙遜気味なエールなどが披露され、会場は大いに盛り上がった。

閉会

(会長)

以上で全ての議事が終了いたしました。今回は、新しい試み・手法等も取り入れたグループワークでした。次回の開催は来年の2月になりますが、その間に様々な課題があるかと思えますけれども、お互いに連絡が取れるところは連絡を取り合いながら、このコロナ禍の後始末をしっかりと協議会としても進めてまいります。本日はこれにて閉会いたします。お疲れ様でした。

閉会 午前11時45分